農業技術情報第１３号　　令和８年１１月１８日

大雨・落雷・降ひょうに対する農作物等の技術対策

福島県農林水産部農業振興課

令和８年１１月１８日１６時２８分、「福島県気象解説情報（大雨・落雷・降ひょう）第１号（福島地方気象台）」が発表されました。今後の気象情報に注意するとともに、農作物の管理には十分注意してください。

会津では、上空の寒気や気圧の谷の影響により、大雨となる所がある見込みです。１９日夕方から２０日午前中にかけて、土砂災害に十分注意してください。

【気象概況】
日本海と日本の東を進む２つの低気圧が、ともに急速に発達しながら北東へ進み、２０日には日本海北部と千島近海にそれぞれ達する見込みです。また、会津では、気圧の谷や上空の寒気の影響により、大気の状態が不安定となるでしょう。

このため、会津では雷を伴って強い雨が降り、大雨となる所がある見込みです。雨雲が予想以上に発達した場合には、警報級の大雨となる可能性があります。

【雨の予想】
１９日に予想される１時間降水量は多い所で、
　会　津　　２０ミリ
１８日１８時から１９日１８時までに予想される２４時間降水量は多い所で、
　会　津　　８０ミリ
その後、１９日１８時から２０日１８時までに予想される２４時間降水量は多い所で、
　会　津　　６０ミリ

【防災事項】
会津では、１９日夕方から２０日午前中にかけて、大雨による土砂災害に十分注意してください。また、会津では１９日朝から２０日午前中にかけて、落雷や突風、降ひょうによる農作物や農業施設等への被害にも注意してください。

【補足事項】
今後発表する防災気象情報に留意してください。
次の「福島県気象解説情報（大雨・落雷・降ひょう）」は、１９日６時頃に発表する予定です。

【共　通】

１　突風に備えて、パイプハウス等の点検やビニールの補修を行いましょう。また、露地栽培では、事前に収穫可能な農作物の収穫に努めましょう。

【大豆・麦類】

１　事前対策

滞水しやすいほ場では、必要に応じて畦畔の切削等を実施し排水に備えましょう。

２　事後対策

地表面に滞水が見られる場合は、溝切りなどの排水対策を行いましょう。

【野菜・花き】

１　事前対策

（１）共　通

ア　水が停滞しやすいほ場ではあらかじめ明きょ等の排水溝を整備しましょう。

イ　ほ場周囲の排水溝を点検し、速やかに排水できるようにしておきましょう。水害が発生しやすい場所では強制排水のポンプも準備しておきましょう。

ウ　パイプハウスでは、被覆資材及び止め具（マイカ線、ビニペット等）を点検し、ビニールの破損があれば補修しましょう。

エ　施設では、天窓や扉があおられたり風雨が吹き込まないよう閉めておきましょう。

２　事後対策

（１）共　通

ア　停滞水は、明きょなどで速やかな排水に努めましょう。

イ　冠水した場合は、ほ場への出入りによって土壌の物理性が悪化しないよう配慮しましょう。ぬかるむ場合は、出入りを極力避けましょう。

（２）花　き

ア　花きの露地栽培では、風雨により損傷を受けると病害が発生しやすいので、速やかに適切な薬剤散布を行ったり、草勢回復のために液肥の葉面散布を行いましょう。

イ　ほ場が冠水した場合は、速やかに排水を行うとともに、付着した泥を洗い流し、病害等の予防のため薬剤散布を行いましょう。また、液肥の葉面散布や酸素供給剤のかん注により、草勢回復を図りましょう。

【果　樹】

１　事前対策

（１）水が停滞しやすい園ではあらかじめ明きょ等の排水溝や暗きょを整備しましょう。

（２）りんごのわい性台樹は倒伏しやすいので、支柱への結束状態を確認し、不十分な場合は補強しておきます。また、木支柱の場合は、支柱の根元が腐敗していないかどうか確認しましょう。

（３）立木では主枝などの大枝が裂けるおそれがあるので、支柱を添え、折損などの未然防止に万全を期してください。また、側枝は支柱等で固定すると落果を助長することがあるので、支柱等をはずし風になびくようにしましょう。

（４）果樹棚等の施設は、前もって点検し、突風の前にアンカー補強や棚線の締め直し等を行います。また、棚周囲に防風ネットを設置している場合は、風で飛ばされないように補強しましょう。

２　事後対策

長時間に渡る浸水や滞水は根や葉の呼吸を阻害し、生育不良や枯死を招くので速やかに対策を実施してください。

（１）滞水している園地では、明きょなどにより速やかな排水に努めましょう。

（２）土砂が流入した園では、根の呼吸を助けるため、なるべく早く樹冠下の土砂を取り除きましょう。

（３）落果した果実は速やかに収集し、適切に処理しましょう。

（４）ひょう害により、果実が傷ついた場合は、程度に応じて適切に対応しましょう。

（５）倒伏した樹はできるだけ早く起こし、土を盛り、支柱等で固定します。

（６）大枝が裂けた場合は、ボルトやカスガイ等で止めるか、縄などでしばり傷口を接着させます。また、大枝が折損した場合は、折れた部分からやや基部の健全な部分まで切り戻しましょう。さらに、傷口から病害などが侵入しないように、傷口の保護に努めましょう。

（７）果樹棚のワイヤー等が破損した場合は、速やかに修復や補強を実施しましょう。

【畜産・飼料作物】

１　事前対策

（１）風雨の吹き込みを未然に防止するため、畜舎、飼料庫、飼料タンク、堆肥舎及び排水溝等の破損や亀裂等の有無を確認し、必ず補修等を行いましょう。
（２）開放された飼料の保管場所では、飼料をシートで覆うなどして、雨水がかからないようにしましょう。
（３）堆肥舎は、風雨の吹き込みにより、堆肥や汚水が流出することが心配されますので、堆肥をシートで覆うなどして、流出を防止しましょう。
（４）停電や断水時等の対応をあらかじめ確認し、被災時には、自家発電機等による搾乳や生乳冷却等の対応ができるよう準備しておきましょう。
（５）水はけの悪い草地や飼料畑には、明きょを掘削するなど、速やかに排水できるようにしましょう。

２　事後対策

（１）畜舎等が浸水した場合は速やかに排水し、疾病発生予防のため洗浄と消毒を行った後、施設内の乾燥に努めましょう。
（２）滞水している草地や飼料畑は、明きょなどを点検し、速やかに排水しましょう。
（３）豪雨により草地や飼料畑で土壌浸食が発生した場合は、早めに修復しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課　TEL０２４（５２１）７３４４
○農業振興課ホームページ
以下のＵＲＬより他の農業技術情報（生育情報、気象災害対策、果樹情報、特別情報）をご覧いただけます。
URL：https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/